

みるとす

No.198

駿東学園
ニュース

〒410-1322

静岡県駿東郡小山町吉久保1050

☎ 0550-76-3808

FAX 0550-76-4663

http://www.mirutosu.or.jp/

e-mail:suntou@mirutosu.or.jp

2025. 8. 31



みんなで納涼祭(7.18)



久しぶりの親子一泊旅行(6.2~3)



目

次

- ★令和6年度ミルトス会現況報告……………(2~5)
- ★グループだより
 - ・sunsunグループ
 - 「暑さに負けず」……………高橋孝太(6)
 - ・ピカソグループ
 - 「楽しさと喜びを一緒に」……………池野忍(6)
 - ・ドリームグループ
 - 「ドリームグループ」……………齋藤太郎(7)
 - ・mimoiグループ
 - 「つくる楽しさ、つながる喜び」…高橋知美(7)
- ★不二聖心女子学院御殿場・裾野地区会ボランティア
 - 「奉仕活動での発見」……………(8)
 - 「ボランティア活動に行ってみて」……………(8)
- ★不二聖心女子学院中学生ボランティア
 - 「心で向き合う」……………(9)
 - 「ふれあいを通して」……………(9)
- ★親子一泊旅行特集……………(10)
- ★夏のアルバム……………(11)
- ★2025夏の行事……………(11)
- ★運動会のお知らせ……………(12)
- ★後援会の皆様へ……………(12)
- ★編集後記……………(12)

令和6年度 ミルトス会 現況報告

駿東学園園長 高木徳雄

平素より当法人及び障害者福祉へのご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。今号では令和6年度の現況報告を致します。以下に令和6年度の【事業報告】【計算書類】【ご寄付を頂いた方々】を掲載します。

【事業報告】

令和6年度の法人全体の事業計画に対する主な実績（*）は以下のとおりです。

〈計画1〉

「経営組織のガバナンスの強化」「事業運営の透明性の向上」「財務規律の強化」「地域における公益的な取組」を法人役員の相互牽制のもと、継続して行っていく。

*「社会福祉法第59条等の規定に基づき所轄庁に届け出る書類」「令和5年度福祉・介護職員処遇改善加算及び福祉・介護職員等特定処遇改善加算並びに福祉・介護職員ベースアップ等加算に係る実績報告」「障害福祉サービス等情報公表システム事業所情報届出」などを静岡県に提出した。

*「ミルトス会就業規則」「ミルトス会パートタイム職員就業規則」「パートタイム職員給与の取り扱い

い」「社会福祉法人ミルトス会職員給与規程」「育児・介護休業等に関する規程」の一部改定を行ない、労働基準監督署に届出した。
*短期入所駿東学園とクララ寮の各事業所に係る障害福祉サービスにおける指定更新、並びに駿東学園相談サポートセンターなどこれに係る指定特定相談支援事業所の指定更新の届け出を提出した。

〈計画2〉

3年目となる中期行動計画の重点項目は以下の通りである。

①「コンプライアンス遵守の徹底」・・・新しい職員組織における役員を中心に職務を遂行していく上で求められるコンプライアンス遵守の強化を図る。

*次の第三者評価の受審に向けた課題の整理をしていくことについて確認した。

②「アフターコロナに向けた地域交流」・・・今後求められる感染症対策を勘案した上で、発信の継続と共につながりを実感できるような取り組みを試行する。

*感染状況に配慮しつつ、小山町夏祭りや小山町ふれあい広場への参加など、地域の行事に参加した。

③「現状に合わせた支援体制の再構築」・・・多様な日中活動支援の実現を図り、高齢利用者及び若年利用者のどちらもが、満足できる活動の充実を図る。

*作業や散歩を中心とした活動について、午後の活動も含めて、計画した活動内容を実施することができた。

④「ニーズに対する的確な設備投資」・・・IoT 機器等が進化する中でニーズに対しての意見聴取と集約は継続して行う。車いす利用者が複数でも乗車可能な車の活用、

日常業務だけでなく感染症対応時にも活用可能な Wi-Fi 環境を整え、情報共有ツール（デスクネット）の実用化を進める。

*情報共有ツールとして導入したデスクネットの活用が職員の間で浸透した。

*眠りスキヤンの購入において補助金申請を行ない、導入した。

⑤「満足度調査の実施・満足度の向上」・・・新たに作成した満足度調査書を基に利用者及び保護者を対象に調査を実施する。

*調査結果における分析をまとめ、改善の点において職員への聞き取りや面談を行なった。

⑥「人材育成における理念の浸透」・・・倫理綱領や職員行動規範

の周知につながる職員研修を計画、実施する。

*学園創立当時の経緯等を職員間で共有を図るための資料を配布した。

⑦「研修制度の再構築」・・・研修ニーズのある研修並びに階層別研修等の園内研修の実践から成果につなげる。

*研修ニーズに応じた動画視聴による園内研修を定期的に行なうことができた。

⑧「職員層に合わせた組織の見直し」・・・改編した職員組織において、職務の実情等の評価を行ない、必要に応じて見直しを図る。

*改編された職員組織における大きな課題はなく、職員間の連携を更に密にしていくことを確認した。

⑨「アフターコロナにおける娯楽の充実」・・・感染症に配慮した行事企画の他、希望に則した楽しめる機会の実現を図る。

*地域の行事に参加し、学園行事も以前に近い形に戻すなど、楽しめる機会を設けることができた。

一方で、感染者対応をする期間が生じて行事を見合わせることもあった。

⑩次期中期行動計画「2025～2027」の策定を進める。

*新たなニーズ調査を計画的に進め、今期中期行動計画における実績をまとめると共に、次期中期行動計画「2025～2027」の策定を進めることができた。

〈計画3〉

利用者支援においては、人権並びに権利擁護の視点を大切した意思決定支援をより明確に反映させた個別支援計画の策定により、自己決定が少しでも多くできるような充実した生活を送ることができるよう実践をしていく。

①個別支援計画（意思決定支援計画を含む）の充実と実践。

*個別支援計画の評価説明について、感染症対策に左右されることもあったが、予定等の調整を行ない、対面による面談を実施することができた。

②高齢化に伴う体力・機能低下予防に努める。

*荒木理学療法士に毎週1回きていただき、リハビリ等を行なっていただき、職員も指導していただいた。また、園内研修の一環として職員を対象に講演をしていただいた。

③権利擁護、虐待防止、身体拘束に関する研修を定期的実施し、職員への周知を図る。

*計画した各研修を実施できた。

研修で学んだことを支援の場にかすために次のステップを研修担当で協議し、研修実施計画に反映することとした。

*定期的に虐待防止委員会を開催して、支援の課題や身体拘束の適正化について確認した。また、外部委員として選任した方が参加する形での虐待防止委員会を実施した。

〈計画4〉

当法人の非常災害（南海トラフ巨大地震、富士山噴火、風水害等）

の発生時における小山町の計画とのすり合わせ等の協議を引き続き実施していく。また、小山町要配慮者個別避難計画の作成に係る会議等に参画し、当事業所が福祉避難所としての機能を維持していく

ためにも、新たな車両進入路については小山町と協議を継続していく。また、災害時における事業継続計画の更新及び定期的な研修等により職員への周知を図る。

*小山町要配慮者個別避難計画に関する研修に参加し、昨年度の進捗と今年度の実施計画を確認した。

*新たな車両進入路についての町との協議は進んでいない。

〈計画5〉
感染症対策については、感染症対

策委員会を中心に随時協議し、必要に応じて事業継続計画並びにマニュアル等の更新を行ない、感染症対策に関する研修等により職員への周知を図る。

*感染症に関する事業継続計画(BCP)の園内研修や訓練を計画し実施した。

〈計画6〉

リスクマネジメントの充実を図る。特に与薬関係における事故、及び転倒や怪我による事故の軽減を図るための働きかけを全職員で取り組んでいく。

*与薬事故について注意喚起を図るため、定期的に誤薬防止強化期間を設定し、職員に注意喚起をした。

*業務が煩雑する時間帯などにおいて、与薬ミスのリスクが高まることや、原因不明の怪我などの事例が多い傾向にあることを課題に挙げ、ヒヤリハットの提出を職員に促した。

〈計画7〉

日常的な財務・会計面においては、財務分析を行いながら安定した収入が得られるよう努める。また、地域ニーズに添えていく上でも駿東学園利用者増を図り、5人の新しい利用者の入所を計画する。

*入所を前提とした体験的短期入所利用については、コロナ感染症対応により計画通りに進められない期間もあったが、今期は3名の入所者を確保できた。

【理事会・評議員会】

理事会を4回開催し、32議案を審議した。評議員会は2回開催し、2議案審議を行なった。

【監事監査】

決算監査と期中監査を実施した。業務及び会計に関する各事項は適正に処理され、1件の意見を頂いた。

【静岡県等の行政指導監査等】

① 11月7日に食品衛生監視指導を実施し、口頭指導2件については正改善した。

② 10月31日に水道法第88条第2項に基づく水道施設の立ち入り検査を実施し、指摘事項はなかった。

③ 1月17日に全国健康保険協会管掌健康保険及び厚生年金保険被保険者の資格及び報酬等の調査を実施し、口頭指導1件については正改善した。

【各事業の実績等】

「日中活動」「帰省」「行事」「研修」「地域貢献」「実習生、ボランティア、教員研修の受入」「保護者会」等は、日中活動の充

実を図り、感染症対策を施しながら、地域とのつながりの構築を目指し、コロナ禍以前に近い形で受け入れや活動ができるよう計画し、感染者対応が生じた期間以外では計画通り実施できた。

(寄附(含む物品)を下された方

麻場公明、天野勝、天野仁、池原純男、石澤和博、石田忠男、井田松江、伊藤祐子、稲村清子、稲村敬作、井上好夫、今関公雄、岩城えり子、岩田志津江、岩田ひとみ、岩田明倫、岩田方子、岩田淳子、内田正行、内村哲征、内野忠、エビスLLC、遠藤千代子、桜蔭学園生徒会、岡井良一、大沼みち子、尾崎房子、株式会社オサコー建設、長内進、音淵正久、小野範男、小山町手をつなぐ育成会、小山町民踊愛好会、小山町消費者実践人参グループ、小山衛生社、加賀日出男、株式会社カジマヤ、勝又和久、勝又こずえ、勝俣剛勇、鎌野剛、河村美里、香間大作、有限会社関東消毒、木枝明、小池俊子、国際ソロプチミスト御殿場、小西光治、斉木滋、斉木隆、斉藤弘道坂口和子、佐野正太、株式会社三協、篠崎勝則、清水弘美、十輪寺、神成書店、すがぬま薬局、杉本知子、杉山一治、

株式会社すずらん、鈴木隆介、須山好子、スルガ銀行株式会社小山支店、駿河興産株式会社、駿東学園保護者会、駿東学園後援会、聖学院小学校 PTA、株式会社セイブ ロスパー、芹澤理浩、セラ法律事務所、高木義純、竹内善信、田代達也、田代久枝、田代吉久、多田一正、田中正江、田村英之、田村沙代子、千頭和静江、晁桜会、土屋司、土屋弘子、堤豪範、東栄商工株式会社、東京電力労働組合静岡地区本部、有限会社トータルサービス御殿場、土橋達子、土橋善仁、中川商店、長澤春子、西川厚、日本善行会御殿場支部、沼津信用金庫、萩原信子、林昭子、有限会社林商店、林信晴、原とし、ハローイワタ、東静岡ヤクルト販売株式会社、久田則夫、平野一枝、富川喜八郎、福川成一、古屋千恵子、保坂進、細谷地優子、ほていや、本田ツヤ子、眞野智子、三柳商店、宮嶋健一、村井恵太、村井靖子、明倫小学校、毛利幸子、望月克己、森川順子、森嶋米子、守屋法仁、八重山宗成、山口千代子、公益社団法人有隣厚生会富士病院、湯山和行、湯山きく枝、湯山清美、湯山浩昌、吉田弘行、米村真里子、覧具博義、ロン美容室、渡辺坦子、渡辺忠夫、渡

※資金収支計算書 自令和6年4月1日 至令和7年3月31日 (単位:円)

Table with 4 columns: 勘定科目, 予算(A), 決算(B), 差異(A)-(B). Rows include 事業活動による収支, 施設整備等による収支, and その他の活動による収支.

令和6年度ミルトス会 計算書類

辺幸子、渡辺正憲、渡邊やよ子 (順不同・敬称略) ボランティア活動等をして頂いた方々 ・音淵正久、音淵早百合、小山町子供会育成連合会、田代克哉、日本赤十字社「日赤奉仕団」、不二聖心女子学院御殿場裾野地区会、毛利幸子 (順不同・敬称略)



(5)

※事業活動計算書 自令和6年4月1日 至令和7年3月31日 (単位:円)

Table with 4 columns: 勘定科目, 当年度決算(A), 前年度決算(B), 増減(A)-(B). Rows include サービス活動増減の部, サービス活動外増減の部, 特別増減の部, and 繰越活動増減差額の部.

※拠点区分計算書類・計算書類に対する注記はホームページに掲載

※貸借対照表 自令和6年4月1日 至令和7年3月31日 (単位:円)

Table with 8 columns: 資産の部 (流動資産, 固定資産, 基本財産, その他の固定資産), 負債の部 (流動負債, 固定負債), 純資産の部. Rows list various assets and liabilities with their values for the current and previous fiscal years.

グループだより

Sunsunグループ
暑さに負けず

高橋 孝太

園芸・ひまわり班の合同で活動していた班活動は、今年度より「グループ活動」と名称を改め、新たに「sunsun（さんさん）グループ」としてスタートしました。今回はそのグループ名の由来と活動内容についてご紹介いたします。

グループ名「sunsun（さんさん）」は、職員の皆さんから多くの案を出していただいた中で、農作業や園芸作業を主に行うグループという特徴から、「太陽」「たいよう」といったキーワードが多く挙がりました。太陽の恵みを受けながら作物や花々を育てる姿をイメージし、英語で太陽を意味する「sun」、そして燦燦と降り注ぐ太陽の光を表す「sunsun」という名前に決定しました。利用者の皆さんはまだ新しいグループ名に慣れていない様子ですが、活動を通じて徐々に親しみを持っていただければと思っています。

活動内容は従来と大きくは変わらず、シクラメンの栽培や畑での



シクラメン移植

野菜作りが中心です。今年も岐阜県中津川市の泉農園さんからシクラメンの苗を仕入れ、学園のビニールハウスで栽培を開始しました。毎日の水やりや手入れを通じて、たくさん美しい花を咲かせ、皆さまに選んでいただけるよう努力しています。

夏の暑さが厳しいこの時期は、sunsunグループにとって最も大変な季節です。早くから続く猛暑に対応するため、屋外に避暑スペースを設け、熱中症や脱水症状に十分注意しながら活動を行っています。職員・利用者はもちろん、花や野菜も暑さに負けず、この夏を元気に乗り切っていきます。

ピカソグループ
楽しさと喜びを一緒に

池野 忍

午前中の活動が班からグループへと再編成され、かつての「土くれ（陶芸）班」「わーく（カレンダー）班」「くれよん（手芸）班」が一つになり、「ピカソグループ」として新たにスタートしました。陶芸・手芸・カレンダーという創作性の高い三つの班が融合し、今後どのようなコラボレーションが生まれるのか、職員一同楽しみにしています。

「ピカソ」と言えば、誰もが知る大芸術家ですが、その作品は多くの人々に理解されにくいものでした。彼は「人間の本質は苦悩だ。子どものように自由に絵を描けるようになるには一生かかった」と語っています。そんな彼のように、自由で豊かな創作の場となることを願って名付けたピカソグループ。コラボレーションは時に難しいこともありませんが、物を作る楽しさや喜び、そして利用者の皆さんと職員が共に創り上げる意味を忘れず、少しずつでも前に進んでいきたいと思っています。

室内作業が中心のピカソグループですが、季節の影響も無視でき



カレンダー作り
頑張っています

ません。例えば、陶芸に使う粘土は気温や湿度に左右され、形作りや削り作業には細やかな配慮が必要です。カレンダー印刷に使うインキも、夏の方が乾きが早く酸化しにくいいため、発色が良くなりません。暑い夏にはそれに合わせた作業方法を考えるなど、外作業とは違うようであり、共通する工夫が求められます。

今年度は新しく入所される利用者も多く、まずは様々なグループに参加していただく予定です。まだ見ぬ新しい発見とも言える作品を、皆さんと一緒に作っていただくことを心から楽しみにしています。

ドリームグループ

「ドリーム」グループ

齋藤 太郎

今年度より午前中の班活動が「グループ活動」として再編され、各グループは新しい名称で活動を始めています。その中で「ドリームグループ」は、昨年度までの「ドリーム班」から名称変更を行わず、変わらぬ名前で活動を続けています。

今回のテーマはグループ名の由来ということで、「ドリーム」の名称がいつ誕生したのかを調べるため、みるとすや10周年記念誌を確認しました。20〜24ページに元職員の音淵さんが執筆した「班活動」という文章があり、昭和50（1975）年度に農場班と園芸班の2班から活動が始まったことが記されています。翌年にはひまわり班、こまくさ班、手芸班が加わり、昭和55年度には農工班、土塊班、たんぼ班が加わって7班集体に。昭和58年度には農工班とたんぼ班が合併して紫陽花班となり、翌年には紫陽花班がどんぐり班とドリームハウス班に分かれました。このドリームハウス班が現在のドリームグループの原型です。



暑い日は中を歩いています

活動場所であるドリーム教室は2009年に建て替えられましたが、それ以前から同じ場所であり、当時から「ドリーム教室」と呼ばれていました。職員の間では「ドリーム」と言えば活動そのものを指すこともあれば、建物を指すこともあります。

音淵さんは「一人一人に目標を持ったきめ細やかな活動が続けられています」と紹介しており、今後もその言葉にふさわしい活動を続けていきたいと思えます。利用者の皆さんが安心して取り組める場として、変わらぬ「ドリーム」の名と共に歩んでいきます。

moimoiグループ

つくる楽しさ、つながる喜び

高橋 知美

昨年、このグループが植えた「ミルトスの木（銀梅花）」が、今年の夏のはじめにたくさんの花を咲かせました。季節の移ろいと共に植物の成長を身近に感じることができ、利用者の皆さんにとっても嬉しい出来事となりました。

午後の活動では、タイダイ染めや多肉植物の寄せ植えなど、創作的で新しいことに挑戦しています。「今日お仕事ある？」と利用者さんが楽しみにしている様子も見られ、タイダイ染めの工程にも慣れてきたことで、染める作業には意欲的に、洗いの工程も丁寧に取り組む姿が印象的です。作品作りを通して個性を表現する楽しさや、完成した作品を誰かに見てもらえる喜びを感じられる時間となっています。

グループ名の「moimoi（モイモイ）」は、フィンランド語で「こんにちは」「やあ！」といったカジュアルな挨拶の言葉です。ここで生まれる作品が多くの人と関わりを持ち、駿東学園を知ってもらう機会が広がるようにとの願いを込めて名付けました。



真剣に作品作りに励んでいます

今年度は、タイダイ染めのバリエーションを増やし、より自由な表現ができるよう取り組んでいく予定です。ハウスでは多肉植物も色とりどりに育っており、季節の変化を楽しみながら活動を進めています。

また、以前「オリーブ食堂」さんで作品を展示させていただいたように、今後も夏祭りやふれあい広場などで、利用者の皆さんの唯一無二の作品をお届けできるように、楽しく活動を続けていきたいと考えています。みなさんも、よろしければ作品を手にとってご覧いただけると幸いです。

不二聖心女子学院御殿場・裾野地区会ボランティア

奉仕活動での発見
不二聖心女子学院生徒

先日はお忙しい中、奉仕活動の機会をいただきありがとうございます。私は毎年、地域の川の清掃に参加していますが、今回のような施設での奉仕活動は初めてで、新たな発見がたくさんありました。私が主に行ったのは草取りで、ミミズやダンゴムシなどの虫が多く、自然の豊かさを感じました。多くの人と一緒に作業したことで、思ったより早く終わることができました。

活動の最後には、駿東学園の園長さんから「ミルトス」という花についてのお話がありました。私はこの花を初めて知りましたが、「平和・安息・家庭」という花言葉が駿東学園にぴったりで、とても素敵だと思いました。

これまで私は、駿東学園のような施設を訪れたことがなく、今回が初めての経験でした。年間行事にはお花見やクリスマス会などがあり、利用者の皆さんが楽しく温かな環境で過ごしている様子が伝わってきました。

不二聖心女子学院では毎年奉仕



不二聖心女子学院御殿場・裾野地区会
ありがとうございました

活動を行っており、私は今年度入学したばかりで今回が初参加でした。上級生や保護者の方々が楽しそうに、そして丁寧に活動している姿を見て、「奉仕の心」を感じました。私自身もこの経験を通して、奉仕の心を大切にしたいと思いましたし、またこのような活動があればぜひ参加したいと思えます。

ボランティア活動に行ってみて
不二聖心女子学院生徒

6月14日、私は駿東学園という施設でボランティア活動に参加しました。活動内容は施設の庭の草取りで、障がい者の方々に関わる機会もあると聞き、少し緊張していましたが、また、草を刈るだけで本当に役に立っているのかと疑問も感じていました。

草取りは思っていたほど大変ではなく、友達と話しながら作業を進めることができました。最初は終わりが見えないように感じましたが、時間が経つにつれて庭がきれいになっていく様子が目に見えて、達成感を味わうことができました。

作業の合間には、施設を利用している方と少しだけ言葉を交わすこともありました。活動の終わりには「ありがとう」と声をかけていただき、その言葉が心に深く響きました。短い言葉の中にも、たくさんさんの思いが込められていることを感じました。

今回のボランティア活動を通して、特別なことをしなくても、自分ができることを一つずつ積み重ねることが「ボランティア」なのだと思えました。草取りのよう

不二聖心女子学院御殿場・裾野地区会
ボランティア奉仕活動



な地道な作業でも、誰かの暮らしを支える力になれることを実感しました。また、人とのつながりは時間の長さではなく、どんな気持ちで向き合うかが大切なのだと思えました。

この経験を通じて、今後の生活でも自分にできることを見つけ、実行する姿勢を大切にしていきたいと思えます。



不二聖心女子学院中学生ボランティア

心で向き合う

不二聖心女子学院中学校生徒

年に一度、不二聖心女子学院で行われる「みこころの祝日」の活動として、中学三年生は駿東学園での掃除や交流を行いました。私は温情の会委員として、企画や準備に関わりました。交流会では「パプリカ」のダンスと「世界に一つだけの花」の手話を披露し、朝礼前や昼休みの短い時間を工夫して練習を重ねました。当日は緊張しながらも、振り付けを思い出しながら一生懸命に取り組み、練習の成果を発揮することができました。

披露の際、利用者の方々が笑顔で手拍子をしてくださり、私たちの気持ちが届いたように感じました。言葉がなくても心は伝わるのだという実感があり、温かい交流の時間となりました。活動の中で特に印象に残ったのは、介護士の方々の利用者さんへの接し方です。優しく声をかけ、目線を合わせて丁寧に話す姿から、「支える」とはただ手伝うことではなく、相手の立場に立って関わることなのだ学びました。

不二聖心女子学院中学生ボランティア掃除



生活支援員の方々の一つひとつの言動には、相手を尊重する気持ちが込められており、「心で寄り添う」という言葉がびったりだと感じました。

今回の経験を通して、思いやりとは相手と心を通わせようとする姿勢から生まれるものだ学びました。これからも人と関わる際には、相手を尊重し、心で向き合う

ふれあいを通して

不二聖心女子学院中学校生徒

「みこころの祝日」は、私にとって心機一転となる大切な一日となりました。この祝日は、聖心の学校で大切にされている行事で、物惜しみなく人々に尽くされたイエスのみこころを思い起こし、私たちもその姿にならって奉仕に励むことを目的としています。

当日はミサに与った後、小山町にある駿東学園を訪問しました。まず施設の窓拭きを中心に、利用者の方が気持ちよく過ごせるよう心を込めて掃除をしました。奉仕の中で大切なのは、「奉仕をさせていたたく」という感謝の気持ちを忘れないことだと感じ、一つひとつの作業に丁寧に取り組むことができました。

交流会では、利用者の方と一緒に折り紙を折りました。初めは緊張していた場も、折り紙を通して次第に和み、笑顔が広がりました。完成した作品を喜んでくださる姿や、会話の中で生まれる笑いに、温かい気持ちが満ちていきました。

その後、「パプリカ」の歌とダンス、「世界に一つだけの花」の手話を披露しました。利用者の方

不二聖心女子学院中学生ボランティア交流会



々の手拍子や歌声、笑顔に触れ、私たちの思いが届いたことを実感し、心から感謝の気持ちが込み上げてきました。

この経験を通して、奉仕ができることのありがたさ、人と人とのつながりの大切さを改めて感じました。イエスが示された「物惜しみなく人々に尽くす心」に、一歩近づけたように思います。





豪華な夕食



美味しい料理にピース



最高の笑顔



クララ寮も一緒！

旅行
6.2~3



お土産何買う？



くるみ女子棟集合！



ロビーでのんびり



あんず男子棟集合！



サマーコンサート最高 (7.18)



民踊愛好会の方々と納涼祭(7.18)



皆で楽しんでいます



北郷地区 盆踊り(7.19)

夏のアルバム



新しい仲間 雄大さん 晋さん 圭子さん



花火大会(8.8)

2025 夏の行事

- 8・21 (木) 防災訓練
- 8・8 (金) 花火大会
- 8・7 (木) すみれ会様
ボランテニア来園
- 7・27 (日) 帰省
- 7・26 (土) 小山町夏祭り出店
- 7・24 (木) 防災訓練
- 7・20 (日) 誕生日会
- 7・19 (土) 北郷地区盆踊り
- 7・18 (金) 納涼祭
サマーコンサート
ボランテニア来園
- 7・9 (水) 日赤奉仕団様
ボランテニア来園
- 7・7 (月) 七夕行事
すみれ会様
- 7・6 (日) 保護者会
- 6・27 (金) 不二聖心女子学院
中等部様ボランテニア来園
- 6・14 (土) 不二聖心女子学院
御殿場裾野地区会様
ボランテニア来園
- 6・12 (木) すみれ会様
ボランテニア来園
- 25・6・2 (月) ~ 3 (火)
親子一泊旅行 (焼津温泉)

運動会のお知らせ

第51回駿東学園運動会を開催致します。皆様のご来園心よりお待ちしております。

日時：令和7年10月11日（土）
雨天中止

場所：駿東学園グラウンド



◎駐車場：生涯学習センター小山道場駐車場

（小山町総合運動公園西側）

※小山道場駐車場から学園までは、送迎いたします。

送迎時間：小山道場駐車場⇒学園 8：30～9：20

学園⇒小山道場駐車場 運動会終了後随時

ご不便おかけ致しますが、上記の時間内に学園車でピストン送迎となります。お身体のご不自由な方、ご高齢の方は学園に直接お越し下さい。詳細については後日ご連絡致します。

後援会の皆様へ

素敵な夏の日が続きます。

さて、この6月に任期満了に伴う法人役員（理事、監事）並びに評議員の改選がありました。評議員選任・解任委員の方も含め次の通りです。長く評議員として、法人運営にお力を頂いてまいりました、保坂進様、市江碩様が本任期をもちましてご退任され、新たに橋本誠様、渡邊啓貢様が就任致しました。

保坂進様と市江碩様には心から感謝申し上げます。（以下、敬称略）

☆役員（理事、監事）

理事長 菊池静夫

理事 村井靖子 村井恵太

安田喜人 高木徳雄

音淵正久

監事 湯山和行 湯山浩昌

☆評議員

斉木滋 毛利幸子 小野範男

石田由江 小野泉 渡邊啓貢

橋本誠

☆評議員選任・解任委員

岩田方子 遠藤千代子

湯山和行

編集後記

今年度より『みるとす』の編集を担当します、相川です。先日、久しぶりに親子一泊旅行が実現し、参加された皆さんのきらきらと輝く笑顔を拝見することができました。そのような素晴らしい瞬間を写真や文章でお伝えし、皆様に喜んで頂ければと思います。

これからも一つひとつの出来事を大切に、丁寧な誌面づくりに努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

（相川）

※送り先

◎静岡県駿東郡小山町吉久保1050
駿東学園後援会

◎銀行振込（スルガ銀行小山支店）
普通預金 707936
駿東学園後援会

◎郵便振替口座 00880(8)70097